

サイバー防犯教育に係る学術交流合宿
成果報告書
(C)研究会合宿・研究会が主体となった学術交流活動

1 概要等

石川光泰研究会では、小中高生を対象として、彼らに近い知識・感覚を持つ研究会生が、インターネットの安全性についての教育活動（ワークショップ）を行うとともに、ワークショップの成果をもとに、児童生徒の年齢に応じて必要なこと、大事なことをいかに効果的に伝えることができるかを考え、更に方法論を進化させるべく日々努力・研究をしています。サイバー防犯教育に係る研究活動を行うのみでなく、それら個々の研究を通じて得た「知」を、小中高生への特別授業という形で「実践」する(理論と実践の融合を目指す)とともに、このような実践活動を通じて直接社会に貢献することも目指しています。

こうした活動を行う中、通常交流がある首都圏地域を離れ、これまで交流のなかった地域において、これまで交流のなかった組織・団体と学術的な交流を行い、そこで得られた新たなノウハウや気付きを、研究会活動として今後実施してく小中高生向けのネットリテラシー特別授業である「サイバー防犯教育プログラム」に新たに取り入れるなど、研究会活動の質の更なる向上を目的とし、2024 年 11 月 6 日から 8 日にかけて愛知県名古屋市内にて合宿を開催いたしました。

愛知県警察本部や私立東海中学校（愛知県名古屋市）との協働の下、

- サイバー犯罪の現状と対策に係る講義及び意見交換（愛知県警察本部内）
- サイバー犯罪捜査実務に係る体験研修（愛知県警察本部内）
- 私立東海中学校（愛知県名古屋市）における、サイバー防犯教育の特別授業（ワークショップ）の実施（愛知県警察本部及び愛知県内サイバー防犯ボランティア学生との合同実施）

などを実施しました。

今次合宿では、サイバー防犯教育に係る特別授業実施のため、中学校に実際に赴く必要があり、中学校の授業期間内の平日で実施する必要等があったため、中学校側からの日程要望との調整、県警との日程調整等の結果、やむを得なく上記日程での開催となりました。一方で、春学期の早期から日程調整を続け、研究会内でも周知してきたこともあり、研究会生のうち 8 割以上が参加する合宿となりました。

2 成果と今後の展望

本研究会で行っているインターネットの安全性についての教育活動（ワークショップ）では、小中高生向けのネットリテラシー特別授業を、研究会生が実際に学校に赴くなどして、テーマ別のケーススタディ方式で行っています。また、その際、どのようなテーマを扱うかについては、学校側の希望を伺い、生徒の学齢や関心事項を踏まえて、要望に沿う形で実施

しています。

今次合宿における活動を通じて、研究会生はサイバー犯罪の現状についての知識を習得することができ、また、他団体で実施している教育活動のノウハウを習得等することができました。今後の研究会における各小中学校での教育活動の実施の質の向上が期待されるところです。

具体的には、愛知県警察本部サイバー犯罪対策課の協力の下、①愛知県下におけるサイバー犯罪の現状と対策について愛知県警察本部サイバー犯罪対策課から講義を受け、意見交換を実施しました。加えて、②サイバー犯罪捜査の実務につき、同課の指導により疑似体験の研修を受けました。これら、サイバー犯罪対策の第一線で活躍している愛知県警察本部サイバー犯罪対策課の警察官から直接の講義や指導を受けることにより、実践的なサイバー防犯に係る知見を高めることができました。

また、③名古屋市内の私立東海中学校3年生（9クラス 360名）に対して、サイバー防犯教育の特別授業（ワークショップ）を、愛知県警察本部及び愛知県内サイバー防犯ボランティア学生と合同で実施しました。連続した2時限分の授業時間をもらい、1時限分は本研究会、もう1時限分は愛知県大学生サイバーボランティアがそれぞれ主体となり、ネットリテラシーに関する授業を実施しました。同授業の合同実施を通じ、それぞれが有するノウハウの共有を行うことができ、新しいノウハウを習得し、幅広い視野を習得等することができました。

今次合宿活動を通じて得られた新たなノウハウや気づきを、研究会活動として今後実施してく小中高生向けのネットリテラシー特別授業である「サイバー防犯教育プログラム」に新たに取り入れるなどすることにより、研究会活動の質の更なる向上が期待されます。また、今次活動を通じて広がった視野や、更に高まった積極的な姿勢は、今後のより積極的な研究会活動につながることを期待されます。

3 謝辞

今次合宿は関東を離れた地方都市部で実施したこともあり、交通費・宿泊費等、学生の経済的負担が大きくなるどころでしたが、慶應 SFC 学会から助成金をいただいたことにより、学生の経済的負担が軽減され、結果、学生の積極的な合宿参加につながりました。この場をお借りして、慶應 SFC 学会に深く感謝申し上げます。

また、合宿の実施は、本研究会としては今回が初の試みでありましたところ、充実した実りのある合宿とすることができました。事前に様々アドバイスをいただきましたことも含め、ご支援とご協力をいただきました皆様に、心より感謝いたします。大変ありがとうございました。